

「香川県がん教育推進事業における ゲストティーチャー派遣事業」 に協力して



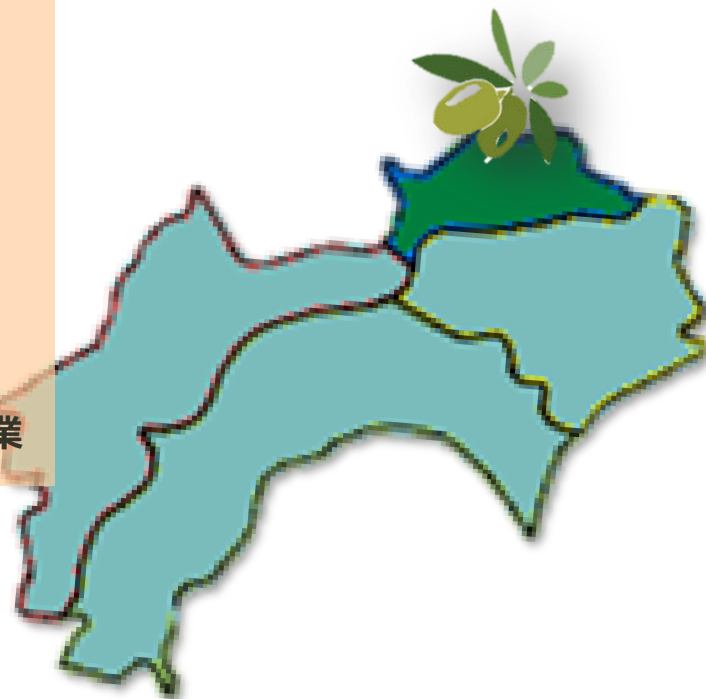
香川県在宅保健師会「オリーブの会」
会長 池田 信子

香川県在宅保健師会「オリーブの会」

香川県在宅保健師会「オリーブの会」は平成11年3月に設立され、県・市町の退職保健師を中心に現在（平成28年12月末）67名の会員で構成されています。

「オリーブの会」活動状況

- 保健・看護に関する研修の推進
- 宅老事業
- 国保健康教室講師派遣事業へ支援・協力
- 保険者支援検討会設置
 - ・ 特定健診・保健指導支援派遣保健師国保連合会設置事業
 - ・ メタボBOXによる生活習慣病予防対策事業
 - ・ 女性のがん予防対策への取り組み
- 香川県がん教育推進事業におけるゲストティーチャー派遣事業



国と県の動き

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
厚生労働省 ／ 文部科学省		<div>がん対策推進基本計画（H24年6月策定）</div> <div>●がんの教育・普及啓発</div> <div>5年以内に、学校での在り方を含め、健康教育全体の中で、「がん教育」をどのようにすべきかを検討し教育活動の実施を目標とする。</div> <div><div>がんに関する検討委員会 日本学校保健会主催</div><div>がん教育総合支援事業 「がん教育」の在り方に関する検討会 文部科学省主催 ◆モデル事業の実施 【学習指導要領改正の必要性の検討】</div></div>				
	香川県	<div>香川県がん対策推進条例 ◆第14条 がん教育の推進</div> <div>第2次香川県がん対策推進計画 6. がん教育の推進</div> <div>香 川 県 が ん 教 育 推 進 事 業</div>				

香川県がん教育推進事業

- 香川県では、平成23年10月、「香川県がん対策推進条例」が制定され、条例の第14条に「がん教育の推進」が定められました。

平成23年12月

「香川県がん教育プログラム検討会」設置

- ・がん教育のあり方の検討
- ・香川県版がん教育プログラム作成

平成25年4月

「香川県がん教育推進委員会」設置

- ・がん教育の推進に向けた課題や方策の検討

- 平成24年より、香川県主催でがん専門医によるがん教育の公開出前授業や県保健師によるがん教育教材試行授業が行われました。
- 平成25年～平成26年には、「香川県がん教育推進事業におけるゲストティーチャー派遣試行事業」を実施し、本会員がゲストティーチャーとして支援協力しました。
- 平成27年度からは、「香川県がん教育推進事業におけるゲストティーチャー派遣事業」として本格実施となり、国保連合会が派遣調整業務を香川県より受託し、本会員も引き続き支援協力しています。

香川県版がん教育プログラム

■ 香川県版がん教育プログラムの特徴

- I. 小・中・高等学校積み上げ型プログラム
- II. 1時間完結型授業
- III. 自分のこととして考える学習内容
- IV. 親世代への検診受診アクション

■ 「香川県がん教育の手引き」の内容

- I. 学校におけるがん教育の推進の必要性
- II. 学校におけるがん教育の基本的な考え方
- III. 学習指導要領に関する資料
- IV. 学校におけるがん教育の進め方
- V. 小中高等学校がん教育指導事例
- VI. 参考資料
- VII. 香川県がん教育プログラム検討の経過

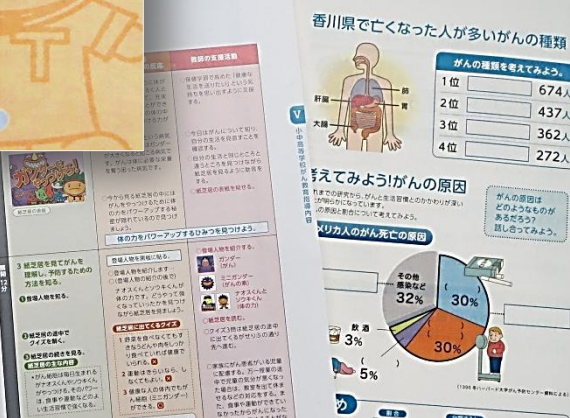
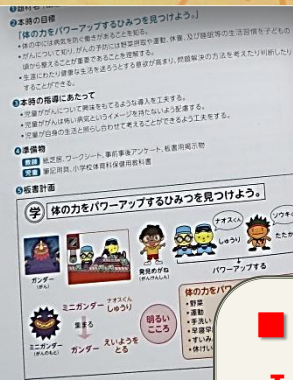
CD内容

- ・ 板書
- ・ スライド
- ・ ワークシート
- ・ 事前事後アンケート



香川県 がん教育の 手引き

香川県がん教育推進委員会



■ 対象

I. 小学生：3年生、6年生

II. 中学生：3年生

III. 高校生：2年生

■ がん教育授業実施者

I. 小学校：学級活動として学級担任が実施。

II. 中学校：担任とゲストティーチャーとのチームティーチング

III. 高等学校：保健体育科(科目保健)担当教諭が実施。

がん教育授業実施にあたっての不安やとまどい

最近の中学生って？

協力したいけど…
がん教育授業って
どうすればいいの？

？

パソコン
上手く
使えるかな？

●対象（中学生）理解に関すること

- ⇒（発達段階からみた）中学生？
- ⇒ 学校でどのようなことを習っているのか？

●がん及びがん教育に関すること

- ⇒ がんの現状？
- ⇒ なぜ、がん教育に特化して授業するのか？

●がん教育ゲストティーチャー派遣事業に関すること

- ⇒ 事業の経緯
- ⇒ ゲストティーチャーって何？その条件とは？

●授業展開に関すること

- ⇒ どんな内容？
- ⇒ 教材？
- ⇒ チームティーチングってどんな風にするの？
- ⇒ 自分に出来るかしら？
- ⇒ パソコン上手く使えるかな？

がん教育授業者育成に必要な内容

- I. がんの現状と知識
- II. がん教育の必要性
- III. がん教育の現状

- IV. 対象者の理解
- V. 事業内容（授業展開）

がん教育授業者の育成

在宅保健師会「オリーブの会」

(1) 全体研修会の開催

- ・がん教育に関する説明
- ・がんに関する香川県の現状
- ・がん専門医による講義

(2) がん教育授業希望者への研修

- ・パソコン操作等説明会
- ・CD(スライドショー)を用いた練習
- ・意見交換
- ・がんに関する自己学習

香川県

がん教育授業者研修会

- ・がん教育の考え方と教材
- ・模擬授業
- ・グループワーク
- ・最新データ提供
(香川県のがんの現状)
- ・教材貸出 (CD,板書)



H28～ 従来のがん教育授業者研修会に
以下含有し、開催。

- ・パソコン操作等説明会
- ・フォローアップ研修会

がん教育実施までの流れ

日程調整

学校からの実施希望日、打合せ希望日をもとに日程調整を行う。
(国保連合会業務)

事前打合せ

ゲストティーチャーが担う役割部分

学校にて、担任教師や授業を実施される担当教員より必要に応じて気になる生徒の状況やクラスの雰囲気伺う。
また、授業の進め方について打合せを行う。

授業当日

担任とゲストティーチャーとのチームティーチング。
学習指導要領にのつとった50分間授業のうち、
ゲストティーチャーは、20分間を持ち時間として授業を行う。
DVDやパソコン等機材のセッティング及びDVD操作は
担任教師が行う。

事後

ゲストティーチャーより振り返りシートの提出。

学校より実施報告書・事前事後アンケート集計結果の提出。
(国保連合会業務)

がん教育授業の実施にあたって

1) 事前準備と工夫

- ① 担当教師との事前打合せ事項や準備物の確認
- ② 学校の雰囲気を感じ取る
- ③ 学校の特徴や活動等の情報収集
- ④ 事前アンケートの確認
- ⑤ 対象者（中学3年生）の理解
- ⑥ 学校が所在する市や地域の情報収集
- ⑦ 押さえるポイントの再確認

実施校や生徒の情報をより把握して、担当教師とゲストティーチャーの役割を明確にするとともに、学校との意思統一を図り、歩調のあった授業になるように努める。

2) 実施当日の工夫

- ① 導入時の担当教師と生徒との反応を観察
- ② 生徒の関心を促す資料や情報の活用
- ③ 導入部分で関心を高める
- ④ 生徒の反応を見ながら進める
- ⑤ 生徒の発言を促す
- ⑥ 話し方を工夫する（明るく、はっきり）
- ⑦ グループワークの時などに見守りやコメントを行う
- ⑧ 時間配分やパソコン等のトラブルに対して臨機応変に対応

保健師はがんに関する専門性は備えているが、教育指導の専門家ではないので、担当教師と授業の狙いを共有しながら、効果的な教育を実施するように努める。

活動状況



命の大切さ学ぶ
満濃中で「がん教育」
まんのう町吉野下の満濃
中学校(環修校長)で9日、
「がん教育」の出前授業が
あり、3年生約120人が、
がんの正しい知識を学ぶと
ともに、命の大切さを考え
た「写真」。

出前授業は国民の死因1
位のがんについて、生徒た
ちに正しい知識を持っても
らおうと、県がん教育推進
事業の一環として本年度か
ら実施するもので、満濃中



での開催が初回となる。県
健康福祉総務課によると、
授業形式のがん教育は国内
でも先進的という。

この日は県内のベテラン
保健師が講師を務め、「香
川県でもがんは死因の1
位。4人に1人はがん」な
どと、がんの現状や種類、
自覚症状を解説。「1センチ
がん細胞になるのに10〜15
年かかるが、そこから2年
弱で2センチまで大きくなる」
と指摘し、検診で早期発見
する大切さを強調した。

3年の今井遥貴さん(14)
は「がんの進行の早さや喫
煙との関係に驚いた。早期
発見・治療が大事だとあら
ためて知り、バランスのい
い食事を取ろうと思った」
と話していた。

平成26年10月10日(金)
四国新聞掲載



がん教育の授業風景

スライドを使い、黒板に板書を貼りながら授業を進めていきます。



在宅保健師の研修会で、二人の会員が協力してがん検診の健康教育を展開する健康劇を観せてもらった。ぴったり息の合った自然な会話やしぐさを目の当たりにし、私は住民の立場で気楽に検診を受ける気になり、とても印象に残ったことを覚えている。

中学生を対象に「がんの健康教育を」という計画を知った時、かの二人が思い浮かび、私も出来ることから参加するといいいかなと単純な気持ちで研修を受けることにした。

いざ十枝先生、吉澤先生のお話を聴いて、家族にがんの経験のある生徒への配慮の重さに不安になる。

しかも、モデル中学校での授業実施を見学するとパソコン操作!! ますますハードル高し。

県も心得たもの。パソコン操作を含むシミュレーション研修をみっちり行う。逃げられんなあ。

そうこうしつつ、打合せのため中学校へ行く。

生徒が、「こんにちは」と会釈し挨拶してくれる。素直でかわいい。

先生方は忙しいスケジュールをやりくりし、打合せ会に息せき切って駆け付ける。どの学校でも担任・学年主任・校長先生達の生徒の状況をしっかり把握していること、がん教育の時限が生徒により良いものになるよう熱意を持って考えられている姿勢に感動した。

当日は、またしても生徒の「こんにちは」と明るい声に素直な目線。うれしい。

ある時遅れて参加し、筆記具を持たずにやや斜めに構えた風に見える生徒がいた。

お節介虫がざわめき、机に筆記具をそっと置く。ややあって記入しはじめ「ありがとう」と返してくれる。

お節介虫ほっこりする。

生徒が家族にメッセージを書き、家族がコメントを返したものを読ませてもらった。『がんの手術を〇〇年前に受けました。自分もつらかったけど、家族にとっても心配をかけたので、自分のためにも家族のためにも健康でいましょう。』

これからも研修を受け、多感な中学生が、がんの学習をきっかけに、自分と家族の健康について考える機会になるよう、先生方と連携し取り組んでいきたい。

そして中学生のあなたへ

50年後、お孫さんと笑って健康の話をしていよう、どうぞ健やかに。感謝。

中学校におけるがん教育授業 派遣実績

■ 派遣事業実績

平成25年度 登録者 6名（うち本会会員協力者 6名）
実施校 2校 派遣数（実績）3名（うち本会会員派遣数 3名）

平成26年度 登録者 8名（うち本会会員協力者 8名）
実施校 13校 派遣数（延）22名（うち本会会員派遣数 16名）

平成27年度 登録者 21名（うち本会会員協力者 10名）
実施校 13校 派遣数（延）24名（うち本会会員派遣数 11名）
がん教育授業受講生徒数 約1,800名（※申請時点）

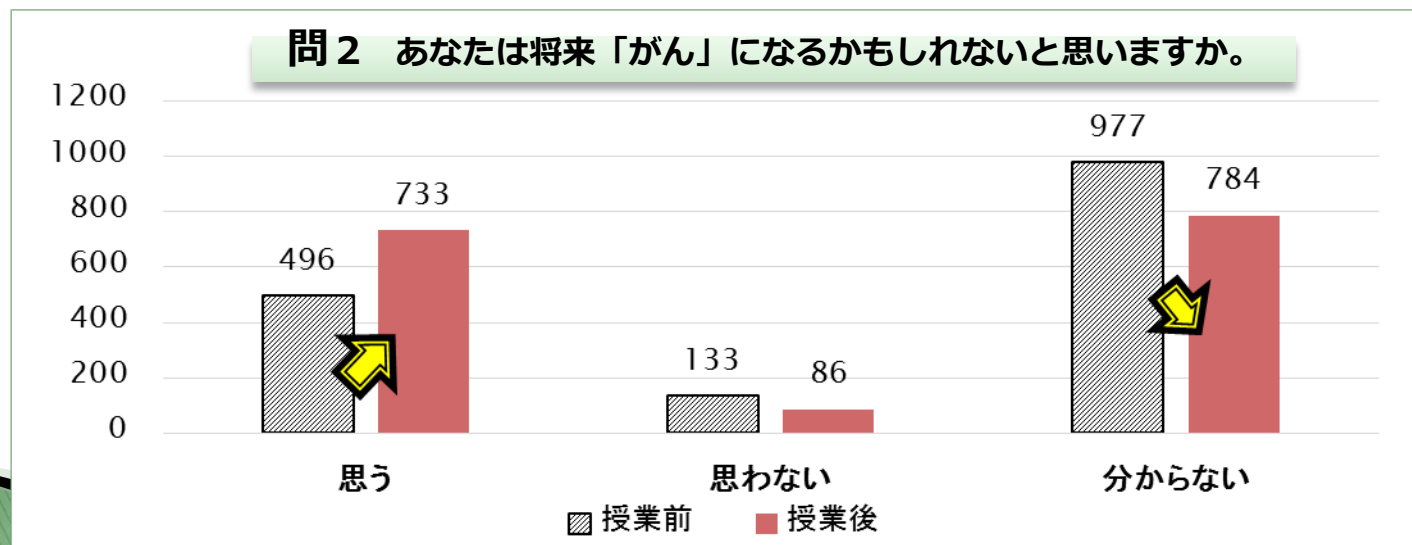
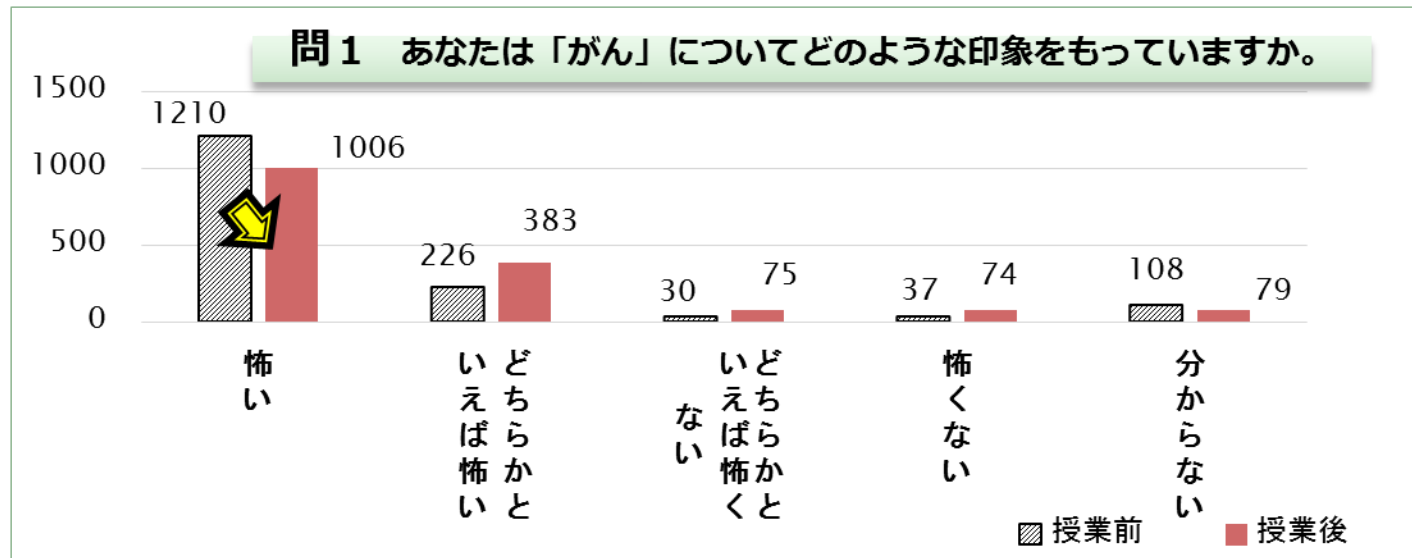
平成28年度 登録者 31名（うち本会会員協力者 12名）
実施予定校 14校 派遣予定数（延）31名
（うち本会会員派遣予定数 12名）

がん教育授業受講予定生徒数 約1,900名（※申請時点）

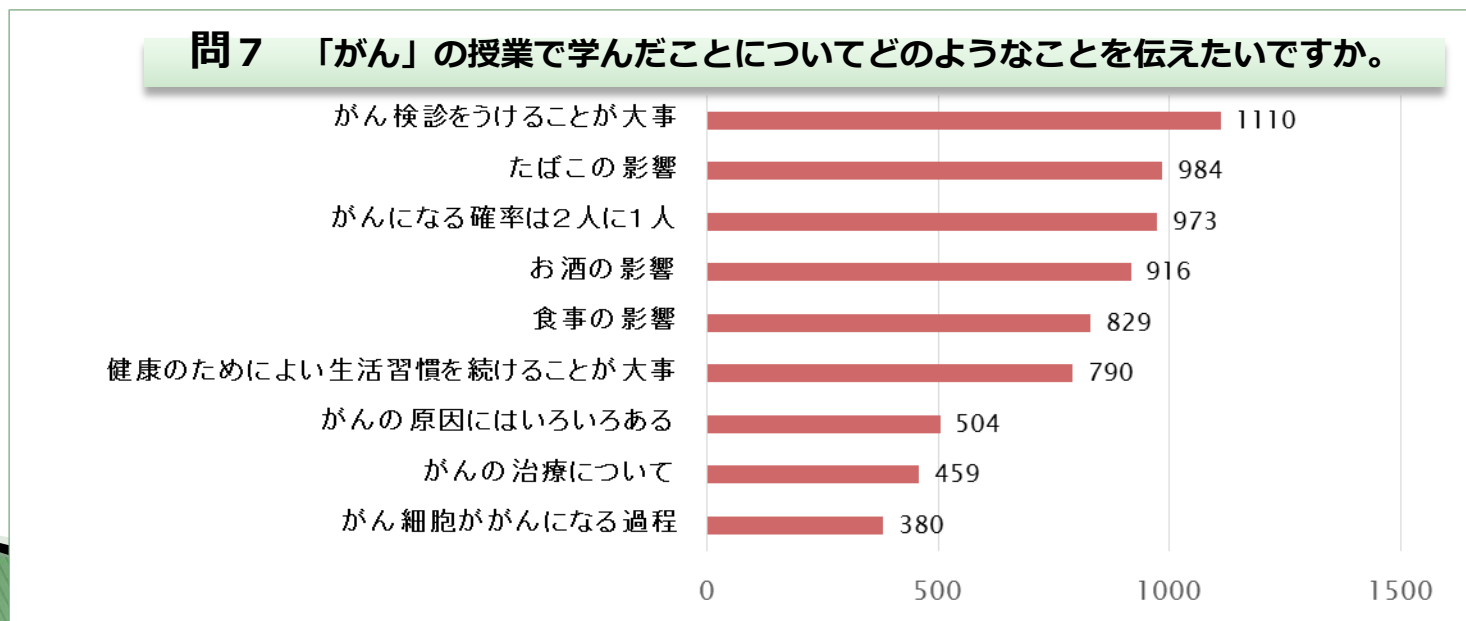
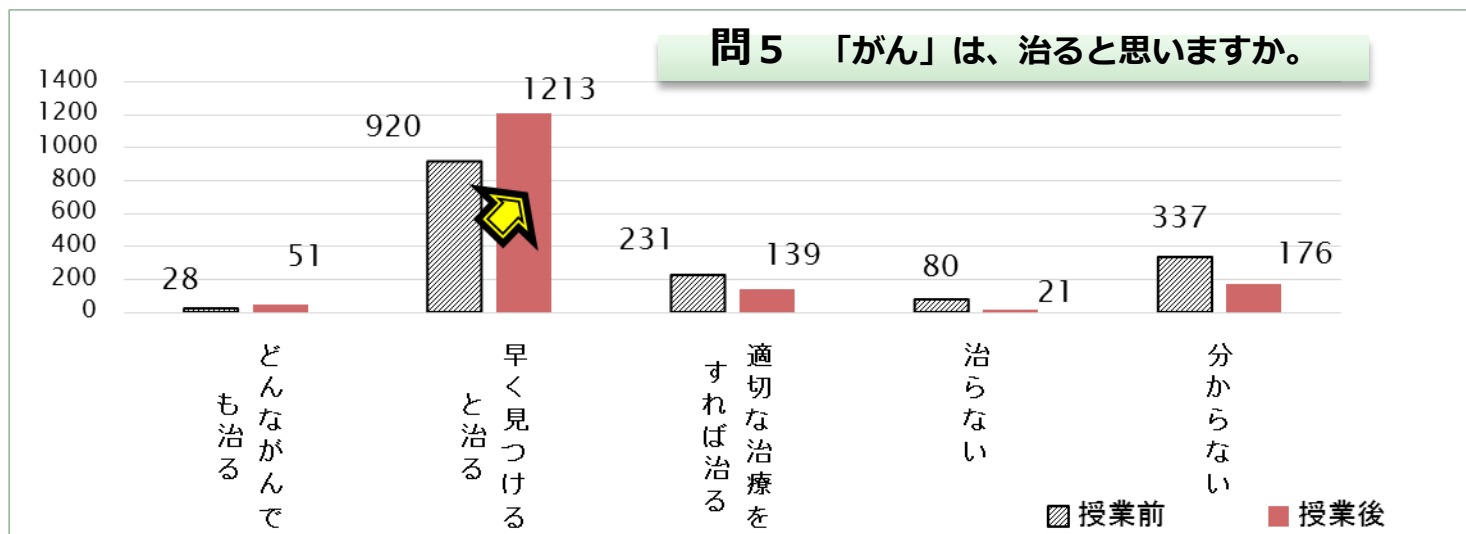
※がん教育授業受講(予定)生徒数は、国保連合会が香川県より 派遣調整業務を受託し、把握している申請時点の生徒数を表記（H27～）

中学校におけるがん教育授業の成果①

がん教育実施校では、受講生徒に対し、授業前後にアンケートを実施、その前後比較を行う等で成果を測ります。



中学校におけるがん教育授業の成果②



終わりに

がん教育は、生きることを考える「命の教育」

がんに対する正しい知識を持ち、身近な人との対話や関わりによって知識が生きる力となることをねらいとしています。また、生徒にかかわる大人の支援によって子どもの生きる力を育むがん教育を進めています。

ゲストティーチャーは、外部講師としてのメリットを活かすと共に、実施後の成果や課題をがん教育推進委員会等で保健・教育・医療等の関係者と検討し、連携を図りながら、がん教育の目標と更に本授業の目標に沿った効果的ながん教育を 担当教師・生徒・ゲストティーチャーが三者一体となって実施していければと考えています。